

震災の記録が語ること

震災の記録を読むことで、次のようなことがわかります。

◆本当に大事なことは何か

体験談や証言集には、人々が極限状況や不便な避難生活の中で感じた「気づき」が残されています。また、写真集や団体の活動報告書には、支援活動や復旧活動で発揮された、人間の持つ力が表現されています。

◆地域の文化や歴史を知ることの大切さ

震災は、地域にもともとあった課題を顕在化させたと言われています。震災の記録には、地域の課題とともに、文化や歴史などの価値を再発見しようとする動きが記されています。

◆震災をきっかけに生まれたもの

東日本大震災がもたらしたのは被害ではありません。さまざまな人や分野に影響を与え、新たな取り組みや考え方が生まれています。

こうして生まれたものは、小説や絵本、詩集といった形でも記録されています。

◆震災の記録は下記の図書館で読むことができます。

岩手県	<ul style="list-style-type: none">●岩手県立図書館「震災関連資料コーナー」 〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通 1-7-1 電話 019-606-1730●岩手大学図書館「自然災害関連資料コーナー」 〒020-8550 盛岡市上田 3-18-8 電話 019-621-6082
宮城県	<ul style="list-style-type: none">●宮城県図書館「東日本大震災文庫」 〒981-3205 仙台市泉区紫山 1-1-1 電話 022-377-8441●仙台市民図書館「3.11 震災文庫」 〒980-0821 仙台市青葉区春日町 2-1 電話 022-261-1585●東北大学附属図書館「震災ライブラリー」 〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 電話 022-795-5943
福島県	<ul style="list-style-type: none">●福島県立図書館 「東日本大震災福島県復興ライブラリー」 〒960-8003 福島市森合字西養山 1 番地 電話 024-535-3218●福島大学附属図書館「震災関連資料コーナー」 〒960-1293 福島市金谷川 1 番地 電話 024-548-8085
茨城県	<ul style="list-style-type: none">●防災科学技術研究所「自然災害情報室」 〒305-0006 つくば市天王台 3-1 電話 029-863-7635
東京都	<ul style="list-style-type: none">●防災専門図書館 〒102-0093 千代田区平河町 2-4-1 電話 03-5216-8716
兵庫県	<ul style="list-style-type: none">●神戸大学附属図書館「震災文庫」 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1 電話 078-803-7342

国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）

<http://kn.ndl.go.jp/>

数多くの震災の記録を横断的に
検索できるウェブサイトです。



「震災記録を図書館に」ウェブサイトもご覧ください。

<http://www.library.tohoku.ac.jp/shinsaikiroku/>

記録を力に

～震災の記録を読んでみませんか～

図書館では、東日本大震災等の震災の記録を
数多く収集し、公開しています。

さまざまな教訓を含む震災の記録は、
これからの生き方や暮らし方を考えるために
必ず役立つはずですよ。

ぜひ、震災の記録を活かしてください。

「震災の記録」とは

震災の記録とは、震災により引き起こされた被害や復旧作業の様子、復興に向けた取り組みなど、震災に関係する状況を記録した資料のことです。

また、震災の経験をきっかけとして生まれた小説や詩集なども含んでいます。

資料には、さまざまな形態と内容のものがああります。それぞれの資料が、異なる状況や想いを伝えています。

資料の形態（例）

図書（本）、雑誌、新聞、CD・DVD、広報誌、チラシ、ポスター、写真、文書、掲示物 など



資料の内容（例）

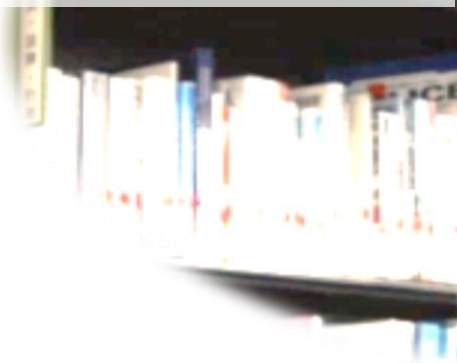
研究書／報告書
体験談／文集
新聞
小説／絵本／マンガ
川柳／詩集
写真集／動画／写真
イベントなどのチラシ／避難所の掲示物
海外から寄せられた応援メッセージ
支援団体の発行した広報誌
地域で発行されるフリーペーパー など

震災の記録を探す・読む

震災の記録を読み、図書館に行ってみませんか。
図書館では、震災の記録を探しやすいように整理して公開しています。
どのように整理されているかを知ること、自分の求めている記録と出会うことができます。

◆「震災の記録」コーナー

震災の記録を公開するため、専用コーナーを設置している図書館があります。これらのコーナーに行くと、関係する資料をまとめて見ることができます。資料を手に取りながら探すことで、パソコン検索では探せない資料も見つかります。



◆分類

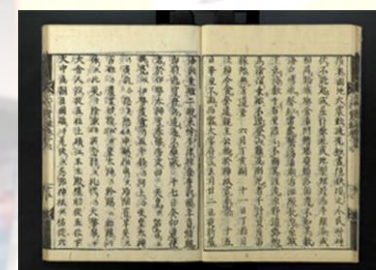
図書館の資料はその形や内容により、分類されて置かれています。分類は、書架を歩くときの道しるべになります。震災の記録を分類するために、専用の分類表を作っている図書館もあります。

（分類表の例：福島県立図書館）

- 過去の災害
- 地震・津波
- 原子力問題・過去の原発事故
- 福島第一原発事故
- 文学・体験記
- メディア・報道・写真集
- 各組織の震災対応
- 法律・保証
- 医学・健康
- 放射線・除染
- 農林水産業・動物
- 復興・防災
- エネルギー
- 雑誌
- 子ども向け
- その他

◆検索

図書館では、資料をパソコンで探せるようにしています。検索は自宅などからでもできる場合が多いので、あらかじめ検索してから図書館に行くと、迷わずに探せます。インターネット上で閲覧できる資料もあります。



『三代実録』
貞観津波（869年）に関する記述がある
（東北大学附属図書館所蔵）

震災の記録をさらに深く読み解くために

◇同じテーマの資料を探してみる

ボランティアや原子力発電所など、多くのテーマは震災発生前からあります。図書館がこれまで蓄積してきた蔵書の中にも、参考になる資料があるはずですよ。

◇過去の災害と比較してみる

図書館には、地域の気候風土や歴史・文化に関する資料（郷土資料）があります。これらの資料をあわせて読むことで、その地域の災害の特徴が分かります。

◇引用をたどる

ある本の中に、関係する別の本が紹介されていることがあります。これをたどると、どんどん読書の幅を広げていくことができます。

記録を活かして、つなげていく

震災の記録を生活や日々の活動に活かしたら、その結果を記録して残してください。次の方のために、資料の寄贈にもご協力をお願いいたします。

